



からむしは苧麻（ちよま）、イト、苧（お）などと呼ばれ、衣生活に欠かせない大切な植物素材でした。この講座では、昔の方法でからむしから繊維を取りだし、糸にして布を作ります。かつて自給自足の暮らしの中で培われた手仕事の営みを体感してください。

からむしを

①からむしの苧引き

7月15日（金）10:00～15:30

※16日（土）は予備日

（15日で作業が終わらなかった方、うまく苧引きができなかった方のため）

★持ち物・・・スクレーパー（百均もしくはホームセンターで購入できます）

②からむしを績む

10月5日（水）10:00～15:30

※6日（木）は予備日

③からむしを編む

12月8日（木）10:00～15:30

活動場所：秋田県立博物館 実験教室

服装持ち物：汚れても差し支えない服、マスク

参加費：無

注意事項：入館の際、手指消毒、検温をお願いします。

その他：ご不明な点がございましたら、本教室担当の斉藤までおたずね下さい。

お問い合わせ先 秋田県立博物館 TEL018-873-4121

紡ぐ



スクレーパー

- ・プラスチックでなく、金属のもの
- ・歯の幅は5cm前後がオススメ



秋田県立博物館